

# 糖尿病透析患者において透析間体重増加を抑制できる可能性のある薬剤 - リラゲルチド (Lira) とミグリトール (Mig)

長崎腎病院

○川口利江 白井美千代 丸山祐子 船越 哲 原田孝司 小嶺真耶  
中島ゆかり 矢野未来 江藤りか

## 【背景】

近年臨床使用されるようになったインクレチン製剤や $\alpha$ GI は、食物の胃内停滞時間を延長させ、飲水コントロール困難の透析患者の体重増加改善に寄与できる可能性がある。

## 【目的・方法】

糖尿病透析患者における GLP-1 受容体作動薬 Lira、また  $\alpha$ GI である Mig の透析間体重増加抑制効果を検討する。

## 【対象】

A 群；インスリンから Lira 皮下注に変更した 4 例、B 群；ボグリボースから Mig 内服に変更した 18 例。

## 【結果】

A 群では変更 2 週間まで透析間体重増加は 50%まで激減したが、その後上昇し、8 週間目にはほぼ変更前値となった。B 群では変更 6 週間まで増加はゆるやかに 30%減少し、その後徐々に上昇しているが、変更前値までは至っていない。

## 【考察】

透析間体重増加の大きい患者において、Lira と Mig の増加抑制効果が示された。Lira で早期にこの効果が減弱したことは、tachyphylaxis の関与が考えられた。